



**FEILER
CLUB**

美を発見する旅

銀座、 美的散策

銀座でみつけた、美のギフト

「日本初のフェイラー旗艦店がオープン！」

「夏の彩りとともに、母娘で贈り合いたい」

明日もっと華やくために

「心身から、美しくワタシを磨く」



美を繋ぐ

FEILER CLUBの皆さま

美容家の橋本さんのお気に入りにはハンカチ。
スポーツ後のお肌のケアにも使用しているそうです。

写真=日高奈々子 (Studio Sarrut) 文=村上涼香

東京都中央区●橋本ワコさん

「美容にも活躍するフェイラーのハンカチ」

「フェイラーとの出会いは、20代の頃通っていた料理教室です。レストルームにハンカチが数枚置かれていて、一枚ずつ使っていたのが印象的でした」と語る橋本ワコさん。その後、友人からハンカチをプレゼントされたのをきっかけに自分でも購入するようになったそうです。

「ハンカチやポーチなどでかわいい柄を取り入れると気持ちがなごみます。また何か贈り物に足したいときなどによくハンカチを購入しています」

スポーツをする際のスキンケアや日焼け止めのアドバイスなどをする「スポーツビューティアドバイザー」として活躍している橋本さんは、美容にもフェイラーを活用しているそうです。

「街を出歩くときはもちろん、ランニングや山登りなどで日に当たり肌が熱を持つと、メラニン色素が活動しやすくなります。そこで元の状態に戻すために、フェイラーのハンカチを濡らして肌を冷やしています」

具体的には、家に帰ったらまず、フェイラーのハンカチを濡らして絞ったものを「ラップに包み」冷蔵庫に入れます。その間シャワーを浴びているとちょうど良く冷えます。冷やし過ぎると肌をいためるので、少しひんやりするくらいが目安。そのハンカチを1分程度顔に当て、肌をいたわります。

フェイラーのハンカチを使う理由を



1 / 濡らして冷やしたハンカチを、自分の頭の重さで優しく肌当て冷やします。2 / 愛用しているハンカチたち。中でも「ストロベリーフィールド」はお気に入りの柄。

※「FEILER CLUBの皆さま」出演者募集。詳細は裏表紙をご確認ください。

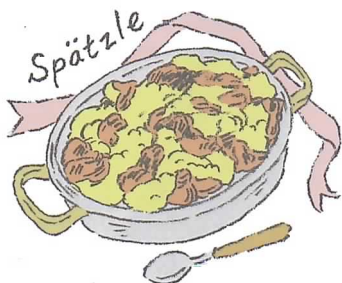
うかがうと、「吸水性がいいので水がしたたらず、また水分を保つので肌を冷やすのにぴったりなんです。丈夫で長持ちして、くり返し使えるのも魅力ですね」と答えてくれました。

Column

GERMAN CULTURE

「ドイツ南部の家庭料理」

取材協力=ドイツパンの店 タンネ: 佐藤由木子さん 留学生: バーバラ・ミーバックさん
イラスト=別府麻衣 文=住吉大助



data
ドイツパンの店 タンネ
東京都中央区
日本橋浜町2-1-5
TEL 03-3667-0426

※ドイツパンの店
タンネで研修中のバー
バラさんに話を伺
いました。

我が家の数だけあるさまざまな
レシピ。母から娘へ、祖
母から孫へと受け継がれ
てきた、この地の味です。

ドイツ南部は国内で唯一小麦が獲れる地域のため、昔から種類も食されてきました。特に「シュベツツレ (Spätzle)」は日常的な家庭の味。小麦粉と卵で作った生地を板にのせ、鍋に切り落として茹で上げる料理で、付け合わせとして出される他、ケーゼ (チーズ) とフライドオニオンをのせ、オーブンで加熱する「ケーゼ・シュベツツレ」として楽しまれています。都内在住のドイツ人留学生バーバラさんは、ミュンヘンで暮らす祖母の家に行くたび、ランチや夕食でこの料理を食べるそう。「祖母は今も生地から手作りします。ひと手間かかりますが、いつもたくさん用意して私を待っていてくれます。祖母の選んだケーゼがおいしいの秘訣です」